# 事業体系図（案）

2017 年 2 月 22 日

資料 1

メインテーマ：親近感と愛着の持てる憩いのプラザ（公共の広場）～苫小牧市民のサードプレイス～

| 事業コンセプト | 事業方針 | 活動スペース | 鑑賞スペース | 展示スペース | 窓口スペース |
|---|---|---|---|---|---|
| 育てる | 文化芸術への親しみと向上心を喚起する | 共 ソロデビューへの道 | ア じわじわキャンペーン<br>圏 苫小牧アワード<br>フ 響きのソムリエ体験プロジェクト | | リ とまこまい文化口座 |
| | 次世代の文化芸術の担い手をまちぐるみで応援する | ま お茶の間フレンズ | | リ デコレーション大作戦 | 地 とまこまいキッズ基金 |
| 集う | いつでも気軽に立ち寄ることのできる空間を整備する | フ レベルアップ！みんなの部室<br>無 週末マルシェ de ライブ<br>余 ゴーゴーナイトキャンペーン | ア ふらっとコンサート<br>ま どこでもアクション実行委員会<br>ま まちなかスタジオ設計室<br>ま カルチャークーポン | リ わたしの絵日記プロジェクト<br>フ 子どものわくわく社会見学 | 居 コドモの止まり木<br>居 トワイライトカフェ・プレミアムシート<br>居 Living Bar<br>ま 進め！カルチャーバスクラブ<br>ア トクトク予約 |
| | 驚きと感動を共有できる文化芸術活動特有の体験を提供する | 共 おもてなしフェスタ<br>ま 寄合いバル実行委員会<br>圏 カルチャーフェスティバル<br>つ 紅白コミセン合戦 | 圏 びっくり箱プロジェクト<br>フ シアター de アフターパーティー | つ もったいないプロジェクト<br>ま 北の歳時記<br>～アウトドア展示推進企画室～ | |
| 知る | 誰もが関心を持つ情報と来訪の機会を発信する | ま 苫小牧の味を守る会 | ア ○× デー | 情 教えて！子ども特派員<br>情 誰でも印刷工房 | ま 広報とまこまい増刊号　文化編集部<br>無 とまチョップ・アート＆カルチャーポイント |
| | 来訪を通じた偶然の出会いや新たな発見ができる場を創出する | | リ 特別公開！裏方の世界 | 地 とつげき新聞部<br>つ サイン考案部<br>日 図書室（ライブラリー）de ライブ | |
| 関わる | 市民が主体の居場所を共に創りあげる | 地 腕利きサポート部隊<br>創 手作り食堂 in 市民プラザ<br>フ チャレンジショップ in 市民プラザ<br>管 共にアクション実行委員会 | 定 NO MORE 交通事故キャンペーン | 日 ワクワク展示室<br>創 ＤＩＹ応援部 | 共 いきいきディレクターズ<br>居 魅せる事務室 |
| | 楽しみながら持続できる活動を展開する | 余 芝生ファンクラブ<br>日 まちカフェ企画室 | | 無 週刊おすすめリレー | 管 ボランティアコーディネーター協会 |
| つなぐ | 世代間交流や機能・分野を越えた協働を促す | フ 大人のいきいきカレッジ<br>創 見習い親父バンドプロジェクト<br>定 お手軽文化講座 | 定 あなたに魅せる公開リハーサル<br>つ 15 の夜～親子の語らい | | ま 施設運営アカデミー |
| | 顔の見える関係を構築し文化芸術の輪を広げる | 定 なかま to ナカマ | ま 苫小牧文化芸術コンソーシアム | | 圏 施設コンシェルジュ<br>定 空き部屋活用不動産 |

凡例

- 活動ワーキンググループ
- 鑑賞ワーキンググループ
- 展示・窓口ワーキンググループ

（中の文字は基本構想時におけるキーワードの頭文字）

- 共 共用空間
- 定 定常・定期利用
- 地 地域活動
- つ ついで利用
- 余 余暇環境
- リ リピーター
- フ フレキシビリティ
- 日 日常的利用
- 情 情報発信
- 創 創作環境
- 居 居場所・居心地
- 管 管理運営体制
- 圏 圏域
- 雰 雰囲気づくり
- ア アウトリーチ
- 無 無目的利用
- ま まちづくり